

NPO法人景観デザイン支援機構（TDA）では、これまで景観アドバイザー・サミット、景観デザイン・フォーラムと景観デザイン交流会を計5回開催し、地方自治体の景観事前協議や特定な地区の景観形成などにおいて委員やアドバイザーとしてこのプロセスに係わっている専門家と自治体担当者に集ってもらい、景観形成における景観事前協議の役割と取り組みの実情を明らかにするとともに、その課題と可能性について議論し、景観づくりに取り組む行政担当者や専門家の情報交換や交流の場を提供してきました。

今回の景観デザイン交流会では、「ユニバーサルデザインと景観」をテーマとして取り上げます。近年、高齢化、少子化、国際化の進展などの社会の変化、ノーマライゼーション理念の浸透や地球規模での環境問題への意識の高まり、災害や犯罪などへの不安感の増大など、住民を取り巻く環境が変化しており、このような変化に対応して誰もが移動しやすく、利用しやすく、わかりやすい、ユニバーサルデザインに配慮した都市空間づくりが求められています。その結果、公共空間やその付属物に対して新たな機能や性能が求められるようになっていますが、景観デザインの観点からはそれが景観の阻害要因になることもあり、景観の観点からも公共空間のデザインについて議論する必要があるのではないかということからこのようなテーマが設定されました。全てがユニバーサルデザインという観点で括られるものではありませんが、障害者の誘導ブロック、自転車の走行車線の表示、ノンスリップの舗装材、ガードレール、交差点周りの車道の舗装色彩、バス停、ベンチ、そして公共サインなどの道路付属物などです。景観デザインの観点からこれらに十分な配慮がなされれば、公共空間の質を向上させるチャンスでもあると考えています。

そこで、この度の景観デザイン交流会では、ユニバーサルデザインに配慮した景観まちづくりのあり方について、事例の報告をもとに議論し、課題の共有を図っていきたくと考えています。

第6回 景観デザイン交流会 ～ユニバーサルデザインと景観～

■日 時：2017年7月8日(土) 13:30～16:00

■会 場：コトブキDIセンター

(東京都港区浜松町1丁目14-5 (株)コトブキ2F)



■参加費：無料（懇親会別途）

■主 催：NPO法人景観デザイン支援機構（TDA）

■協 力：東京都都市整備局

●申込はメールで事務局まで（メール：main@tda-j.or.jp）

※会場に定員がございますので、できるだけ事前申込をお願いいたします。

●立食パーティによる懇親会も予定しております

※懇親会参加費2,500円

※懇親会参加希望者は**申込必須**です。

●プログラム

1) 東京都における景観行政の取り組みと課題

□東京都都市整備局景観担当

2) 事例報告

◆ユニバーサルデザインまちづくりガイドライン

□新宿区都市計画担当

◆視覚情報とユニバーサルデザイン

□中村 豊四郎（インダストリアルデザイナー）

◆公共空間づくりとユニバーサルデザイン

□宮沢 功（TDA代表理事）

3) パネルディスカッション

司 会：倉田 直道（TDA副代表理事）

パネリスト：国吉 直行（横浜市立大学特別契約教授）

近田 玲子（照明デザイナー）

中村 豊四郎（インダストリアルデザイナー）

宮沢 功（TDA代表理事）